

発行
あすなろ園 家族会
倉敷市玉島勇崎
しあわせの里
あすなろ園内
☎ (086)
528-3110

敬老祝賀会開催される

長寿のよろこび みんなの幸せ



九月十五日、あすなろ園敬老祝賀会が開催された。

式には、県、市をはじめ社協、民生委員会等、多数が参加。入園者を代表して秋山千代乃さんが謝辞を述べると会場から一斉に大きな拍手がわき上った。その後演芸会があり、岡山ふるさと会NTT玉島OB会の皆さんが歌や舞踊、銭太鼓を披露して下さい、又昼食には鯛の生け造りやお頭付きの焼鯛に舌づつみを打ち、長寿と健康を祈った。

「謝辞」

皆様、平素は一方ならぬお世話様になり、有難うございます。おりにふれ感謝致しております。今日もこうして盛大な敬老祝賀会を開催していただき、入園者一同大喜び、ニコニコ顔です。その上数々のお祝品を頂戴し、一生の記念として大切にさせていただきます。有難うございます。

⇒ 祝賀会で挨拶する 中塚理事長



これからも入園者一同心を一つにして頑張り、できることなら「あすなろ園」から、全国一の長寿者ができますよう、お互いに頑張りたいと思います。どうぞ私共のこの心意気を見届け下さり、ご支援いただきますよう、お願い致します。

⇒ 謝辞を述べる 秋山さん

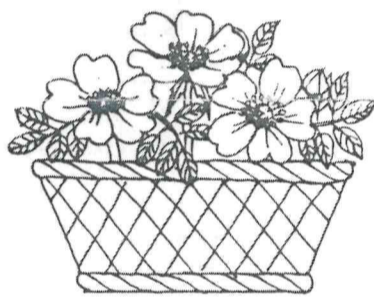


又皆様にもお体、呉々もお大切に遊ばれますようお祈りし、お礼の言葉とさせていただきます。

平成五年九月十五日
あすなろ園入園者代表
秋山千代乃

あすなろ園 在宅介護支援センターのご利用を!!

多くの高齢者は、できるだけ住み慣れた家や地域で暮らしたいと願っています。しかし寝たきりになると介護する家族やまわりの人は大変です。家庭介護はエンドレスです。家庭介護にはそれを支える態勢が必要で、身内の応援団づくりや近所の助け合いが大切です。必要な時、必要なだけ各種の福祉サービスを受けましょう。あすなろ園在宅介護支援センターでは、地域の在宅高齢者のための福祉サービスのご利用をお待ちしております。



あすなろ園では、家族介護者教室を開催いたします。どなたでも受講できますのでお申し込み下さい。(受講無料)

十一月以後の開催日程は次の通りです。

十一月二十日	二時～四時
衣類の着脱と排泄介助	
十二月十一日	二時～四時
家庭でできるリハビリ	
一月二十二日	二時～四時
お年寄りに喜ばれる食事	
二月十九日	二時～四時
家庭でできる応急処置	
三月十九日	二時～四時
寝たきりにならな	
いために	

家族介護者教室開催

(平成5年9月から平成6年3月まで 毎月一回)



登録者受付中

デイ・サービスセンター

今あすなろ園デイ・サービスセンターでは毎日地域の人に、大勢利用されています。只今利用登録者の受付中です。お早めにお申し込み下さい。

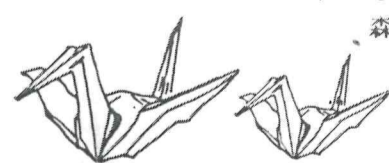


入園者やデイ・サービスセンターで折紙指導のボランティアをして下さる 森分広子先生

ボランティアの皆さん
ありがとうございます

奉仕回数に関係なく記載させていただきました。

- 中村伊久代
- 那須啓文
- 西 勝子
- 西 里美
- 西山ヒサエ
- 賞名美子
- 原田智子
- 原田昌子
- 原田雅子
- 原田芳子
- 原田光子
- 林 すみ子
- 平松淑子
- 藤原須賀子
- 三好由香里
- 森田静子
- 森山和子
- 森分広子
- 守分喜代子
- 山本忠枝
- 横田 広
- 吉川節子



地域からの
「ご寄付」
倉敷市玉島勇崎 一三六五
西山徳一郎様より
ご尊父西山功一様の香典返しとして金一封が
当会に寄付されました。
ご冥福をお祈りし
御礼を申し上げます。
社会福祉法人
松園福祉会

- 赤沢治子 金藤聡子
- 秋田あかね 川本清子
- 浅原二三江 小室美枝
- 上野孝枝 小林千恵
- 太田栄子 佐藤喜久子
- 大野千枝 佐藤智子
- 小田春子 白神 米
- 小野シズコ 白神昌子
- 小野鶴子 白神秀夫
- 小野日出子 末吉和子
- 岡部正子 末吉夕紀
- 岡部日出子 鈴木孝子
- 岡村艶子 高林春美
- 「カトレア美容室」
- 「サロンド・パル」
- 「マサコB・S」
- 「ヘアサロンあかり」
- 「小野美容室」
- 「藤本春正会」
- 「若柳静寿恵社中」
- 「黒崎中学校生徒会」

自 平成五年七月十一日
至 平成五年十月二日
(順不同：敬称略)

夏まつり



おいしい焼きそばはいかが



にぎわう

八月一日入園者・家族の方々は手に手に、綿菓子・タコ焼き・おにぎり・山菜おにぎり・ラムネ・アイスクリーム・焼きそば・おでん・サイコロゲームのチケットをにぎりしめ自分の模擬店に走り店の方々は汗だくの対応で大変だった。

一方ステージでは、ボランティアによる演奏で満場を来しい雰囲気につつま去年よりも盛大に行われた。

来年は一層盛り上がるように新たな企画が今から進められている。

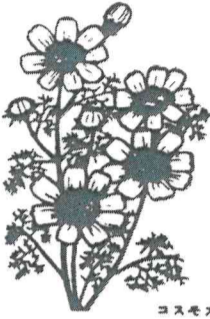
【あすなろ園を訪問して】

あすなろ園を訪問するのは今回が初めてでした。そうじをお手伝いした後三十分くらいおじいさんやおばあさんたちと話ができる時間があると聞いて、何を話そうか、どんなことをしたら楽しんでもらえるだろうか、と胸が一杯でドキドキしていました。

十月十六日、クラスの友達とにぎやかにあすなろ園を訪問しました。最初の一時間は、そうじをしました。私は、一階の部屋や廊下をモップやぞうきんでふきました。私

「初めての奉仕活動」

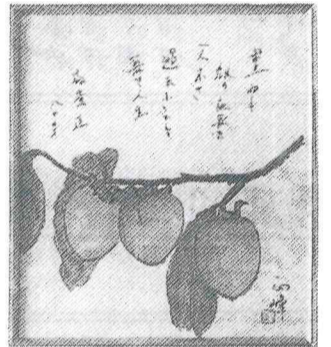
黒崎中学校一年 原田佳織



達が掃除した所をおじいさんやおばあさんが使ってくれるんだと思うと、なんだうれしくてたまらなかつたです。

次に、お話をする時間になって私達は部屋をまわって歌を歌いました。ちょっと恥ずかしかったけれど、おじいさんもおばあさんも喜んで拍手をしてくれましたので、私達は大きな声で歌いました。今度行く時には、民謡を覚えていきます。おじいさん、おばあさん、いつまでも長生きをしてくださいね。また会いに行きます。

翌檜歌壇



晝ねして 秋の夜長を 一人おき

松香 直 (八十四歳)



『施設実習を終えて』

この度、一〇日間という短い実習中にご指導して頂き誠にありがとうございました。あすなろ園で学ばせて頂いたことは、コミュニケーションの大切さ、笑顔で接する大切さ、声かけの大切さ、自立させることの喜び、そして自立を長い目で見る温かい目を養うこととです。また、一〇〇%の離床が実行されていることにおどろきました。他にもまだまだたくさんありますが、これら一つ一つを頭に入れたことからの勉強に役立てていこうと思います。

こちらの施設で学ばせて頂いたことは、三年生最後にふさわしい実習になったように思います。最後になりましたが入所者の方々によろしくお伝えください。

岡山女子高等学校 香山真由美
社会福祉科三年

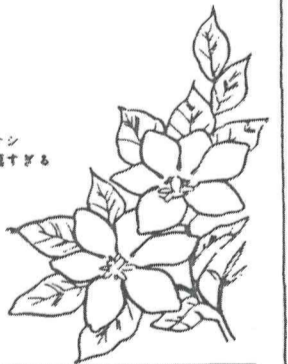
櫛風の日々から⇒⇒⇒しあわせの里へ

「家族模様」 尾崎ふみ子

あすなろ園にお世話になり早くも二年近くを迎え、母も園の生活になじみ、落ち着いた日々を送っていると感じる今日この頃です。

当時、六十二才の母は、四年前に実母をみとった後は、僅かの米作りをし、神戸に住む私達姉妹の所に来ては、孫の面倒を見ながら、お手伝い代りの世話をしてくれて、大変に頼りきって過ごしていました。

しかし突然の不慮の事故で、下半身マヒと成り、車椅子での生活が初まったのです。

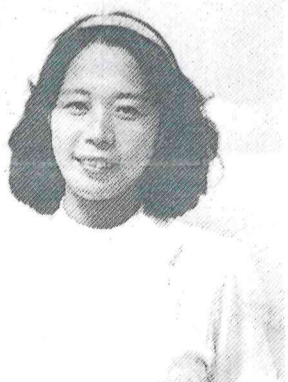


クナシ 幸福すゞも

新入職員紹介



森若佳乃 (森母) 若さいっぱい 明るく元気な人



井上紀子 (寮母) 明るくて良く気のつく 優しい人

一陽来福

「敬老の日」・・・この日を本音でお年寄りを尊敬し、感謝した人がどれほどいたでしょうか。

日頃は「邪魔者」に思っている「我がまま」で思っている「敬老」した人、ただの「祝日」だとし遊び回った人、このような人々を非難し軽蔑するつもりはありません。しかし、これだけは忘れないで下さい。

今、お年寄りと呼ばれている人は戦後、国も人も荒廃し生きる事そのものが困難な時代、妻の、夫の、そして子供達の為に、生き抜いて来ました。この事には無条件に頭を下げて欲しいと思いません。たった一日の「敬老の日」が一日でも多くなる事を願ってやみません。

中藤和雄

救急病院で二カ月に及び集中治療から川崎医大に転院し、一年間床ずれとリハビリの入院治療、神戸から再々来倉する私達姉妹も疲れ、退院間近に母の家に引越して来ましたが、主治医から「自宅生活は、家族を駄目にする。貴女の今後の生活の場は、老健か特別養護老人ホームにすべきですよ。」の言葉に涙した母。せつなく娘家族が倉敷に戻り自宅での生活を楽しみにして居たのでしよう。母の意志が固まらないまま、退院の日が迫っていたので、福祉事務所に自宅に近い特老入所手続きをしました。希望者が多くすぐに入所出来る状況では、ありません。その為、特老に併設されている病院に預かってもらうかたちで入院しました。

でも、看護婦不足で、一日中ベットの所で過ごす日が続いたり、体を拭くだけの一年近い生活に、やっと母も特老の入所を決意し、福祉事務所に相談すると、開園したばかりのあすなろ園を紹介下さり、直ぐに入所出来たので、不安ながらも家族一同、大喜びでした。風呂好きな母も入所喜んだと思います。

入所後、充実した介護のおかげで、私は、自動車免許を取る事も出来、母は、大好きなカラオケや電話を通しての知人との交流に動んで居り、顔を合わせる度に、「あすなろ園は楽しい所でここへ来てよかったと思うよ。」との母の言葉に、園への感謝の気持ちで一杯です。